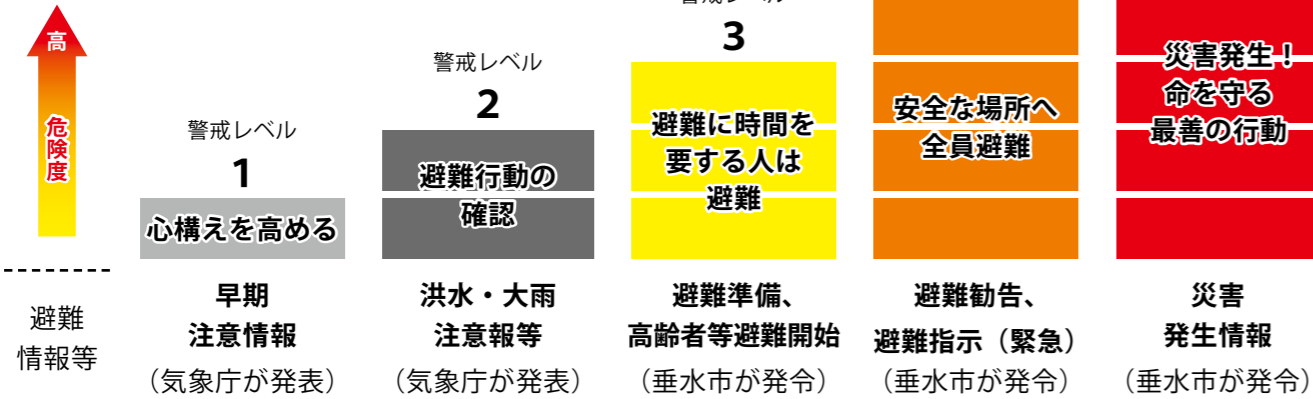


防災の取組

① 警戒レベルと必要な行動

垂水市では令和元年8月1日から警戒レベルによる避難情報を運用しています。

警戒レベル3以上を発令した際は、速やかに避難行動をとります。



【警戒レベル4の呼びかけ例】

こちらは、垂水市です。〇〇地区に土砂災害に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。土砂災害の危険性が高まっています。〇〇地区の方は、速やかに全員避難を開始してください。

※各種情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。情報が急変することもあります。また、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が発令されるわけでもありません。

② 避難時の新型コロナウイルス対策

梅雨期・台風期を迎え、避難所等の開設が多くなる時期です。避難所・危険地域の確認や避難所等での新型コロナウイルス感染症対策にも気をつけましょう。

■事前に備えましょう!

①防災マップ等で避難先、危険な場所を確認しましょう。



「3密」を防ぐため、親戚や友人宅、宿泊施設等もご検討ください。



◀危険箇所(ハザードマップ)は、国土交通省ポータルサイトでも!

②持ち出す物を準備しておきましょう



③感染症防止のため可能な限り携行しましょう



【令和2年垂水市防災点検箇所】

- ①桜島口付近
災害発生年度/平成30年度
工事名
桜島口牛根麓線道路災害復旧工事
- ②牛根漁業協同組合付近
災害発生年度/令和元年度
工事名
市道桜島口牛根麓線道路災害復旧工事
- ③協和小学校裏山
災害発生年度/令和元年度
工事名
災害関連緊急治山事業(協和小学校)
- ④本城川牧橋上流
災害発生年度/令和元年度
工事名/河川災害復旧工事(本城川)



▲防災点検災害復旧工事の説明の様子(本城川牧橋上流)



▲復旧工事前の様子(本城川牧橋上流)

5月25日、令和2年垂水市防災点検を実施しました。これは、市内の災害危険箇所および工事箇所等と関係機関で点検の情報を共有を図り、万一の災害発生に際して、迅速かつ適切な対策がとれるよう連携の確認を行うものです。

今回は、垂水市はじめ、大隅地域振興局、国土交通省大隅河川国道事務所、警察、自衛隊などが参加し、これまで土砂崩れ等が発生した4か所を点検しました。各点検箇所では災害復旧工事の状況や点検箇所の地形・道路・河川状況、山(崖)崩れ、地すべり、落石等の危険箇所(地域)の確認を行い、災害時の対策について情報共有を図りました。垂水市では防災点検等を通じて、市民の皆様の安心安全のための取組を行っており、今後も早めの避難等にご協力をお願いいたします。

出水期に備え 危険箇所を確認

令和2年垂水市防災点検